

感染症等の対策に関する留意事項について

(一社)大分県ソフトボール協会 プロジェクト委員会

3 密(密閉・密接・密集)の回避対策

【運営本部】

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【(公財)日本ソフトボール協会】、感染症等の対策に関する留意事項について【大分県ソフトボール協会プロジェクト委員会】をもとに感染拡大防止対策を行ったうえで実施する。
- 来場者の健康状態および行動を把握し、必要に応じて参加者に感染拡大防止協力を願う。なお、直近の感染状況も考慮し、変更があれば県協会の指示に従うよう協力を要請する。
- 参加チーム、個人参加者から申込書を提出していただき、入場者を事前に把握する。
- 入場時に大分県ソフトボール協会プロジェクト委員会作成の【連絡先および健康状態申告のお願い】を提出のうえ、入場させる。
- 当日、突発的に入場する場合（急遽、参加者が増えた等）は、受付において検温し、【連絡先および健康状態申告のお願い】を記入、提出のうえ入場させる。
- 会場の各所に手指消毒液を設置する。

【参加選手・監督・コーチ・実行委員・保護者等】

- 参加者は、受付時に【連絡先および健康状態申告のお願い】を提出する。
- 発熱（37.5 度以上）、咳、倦怠感、咽頭痛などの症状が見られる場合には、該当者の来場を見合わせる。
- 会場に入る前に、手洗い・手指消毒を徹底する。またバット、ヘルメットなど共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う。（各チーム、個人参加者は消毒液を持参してください）
- ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体接触を避ける。
- 選手以外はマスクを着用すること。間隔をできるだけ1 m以上あけ、大声や必要以上の動作を控える。
- 実行委員はマスクを着用して業務にあたる。
- タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。

『自ら感染しない、感染させないように一人一人が注意をした日常を』

『特に高齢者や基礎疾患をお持ちの方が身近にいる場合は特別に注意した日常を』

『感染した人が身近にいても決して誹謗中傷や差別することなく痛みを感じられる日常を』